

平成26年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- (ア)西区内の第一地区の一部・第2地区全域・第五地区の一部とみなとみらい地区を担当しています。みなとみらい地区や国道一号線沿いの地域では、近年マンションが増えて子育て世代が増加しています。一方、古くから住み続けている住民の多い地域では、高齢化が進み、また地域の担い手にも高齢者が増えてきています。
- (イ)高齢者、子育て世代、障がいのある方など、地域にお住いのすべての方々に、必要な情報やサービスが届くように取り組みました。
- (ウ)第3期地域福祉保健計画の地区別計画、全域計画策定に向けて、課題や解決策について関係機関と検討を行いました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- (ア)皆様に安全に利用していただけるように、施設の設備管理、点検を実施し不具合が生じた場合は、速やかに管理業者へ連絡し、交換、修理を行いました。また、貸室など施設を気持ちよくご利用いただくために、不具合がある備品の処分、整備を行いました。
- (イ)全館清掃、日々の清掃を丁寧に行い、施設周りの植え込みの手入れや水やりも定期的に行いました。
- (ウ)感染症の予防策を実施し、施設内での感染症蔓延防止に努めました。さらに感染症発生時に職員が迅速、的確に対処できるよう研修、実技訓練を行いました。
- (エ)施設内・外の掲示物は自主事業、地域活動他の最新の情報を提供するよう心がけました。

イ 効率的な運営への取組について

- (ア)法人全体で行う職種等の会議を通じて、各種マニュアルの整備、新たな取組に向けての検討などを行いました。
- (イ)平成26年4月より、通所介護事業の更なるサービスの質の向上のため、介護職員を2名増員しました。各事業の業務を円滑に行えるように、新たに1名事務職員を雇用しました。
- (ウ)必要備品の購入、リースに関しては、必要なものをなるべく早く安価で購入、リースできるようにスケールメリットを活かした情報収集を行い、適切な経費支出を心がけました。
- (エ)法人のケアプラザ所長会において、取組の振り返り、情報交換など検討を重ね、より一層の運営の効率化を図っています。

ウ 苦情受付体制について

- (ア)平成 26 年度のご意見、ご要望、苦情は 4 件でした。法人の定める苦情解決規則に則り、お客様からのご意見、ご要望、苦情等に対応いたしました。第三者委員会に至るケースはなく、皆様からお寄せいただいた苦情は所内で振り返りを行いました。毎月、法人本部で行われるサービス向上委員会の中でも分析を行い、その結果も所内会議において職員に周知し、再発防止に活かしています。
- (イ)全職員がご意見や苦情から多くを学び、お客様のお気持ちに添ったサービスが提供できるように努めています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (ア)防災対応マニュアル」「消防計画」「サービス提供継続計画（BCP）」の見直しを行い、適切な対応ができるように準備を行っています。法人全体で災害時を想定した災害時安否確認訓練も実施しています。
- (イ)年 2 回の消火、避難訓練を行いました。3 月には西消防署の協力のもと、西消防署、近隣にお住まいの女性消防団員と合同で、大地震後の火災を想定した消火避難訓練を行いました。訓練後には消防署員の説明による消火訓練、ケアプラザの職員が消防団員を対象に車いすの使用法の説明を行うなど、お互いに学び合う場も作りました。
- (ウ)特別避難場所として応急備蓄品の整備、管理を適正に行いました。

オ 事故防止への取組について

- (ア)事故発生時には、決められた規則に従い各関係機関に連絡、報告を行ないました。
- (イ)通所介護事業等では、サービス提供時の事故防止策、危険予知など事故予防のイメージができるように、様々な研修を行ないました。
- (ウ)個人情報漏えい事故を防ぐために、法人全体で検討した対応方法をもとに、全従業員向けの研修を行い、事業所内で個人情報の取り扱いについての細かいルールを決め、実践しています。
- (エ)通所介護事業の送迎時の事故防止の取り組みとして、お客様の送迎ルートの危険個所のチェックや、法人主催の安全運転研修への参加など、交通事故の防止に向けて様々な取組を行いました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- (ア)法人で定めた個人情報保護規程に則り、個人情報の管理に関する担当者、責任者を定め、毎年、法人本部で行われる個人情報保護・情報セキュリティ研修を受講し、事業所の職員向けに伝達研修を行いました。
- (イ)個人情報の施錠管理は継続しています。データにはパスワード設定を徹底するとともに、平成 27 年からは、法人ネットワーク利用ユーザー及び端末のシステム検証を厳格化し、ウイルス対策、データ管理において、よりセキュアな環境を実現しています。
- (ウ)業務において書類等を外部に携帯する際は、所属長の決裁をとること、持ち出す情報を最小限にすること、個人が特定できないように工夫を行うこと、自転車に盗難防止の袋を取り付けることなどを行っています。
- (エ)個人情報を郵送、ファックスで送信する際は、必ず 2 人 1 組で送信先を確認し、所定のチェックリストにてチェックを行っています。通所介護では連絡帳、その他の荷物の返却はスタッフが 2 人 1 組でチェックをしています。手渡しや郵送する書類は日付・場所・対応者がわかるようにダブルチェックを行っています。口座振替依頼書のような重要書類は、手渡しでのやり取りを原則としています。職員全員が個人情報を取り扱う緊張感を忘れないように、所内会議で対応に対する振り返りも実施しました。

キ 情報公開への取組について

- (ア)本年度は情報公開請求はありませんでした。今後も引き続き、法人で定めた情報公開規程に則り、情報公開請求があった場合には適切な対応を致します。
- (イ)ケアプラザではホームページを定期的に更新し、各種事業に関する情報や運営について広く情報を公開しています。
- (ウ)介護保険事業の記録の開示は、希望がなく行っていません。契約時に通所介護等ご利用のお客様、ご家族には開示請求ができる旨を説明しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

- (ア)日常のごみの削減・分別を行い、ごみの削減に努めました。
- (イ)地域ケアプラザまつりでは、地域の環境事業推進委員の方と協力して、ごみの分別ボックスを設置し、広く地域の皆様にごみの削減、分別、資源として使うことの大切さなどをアピールしました。
- (ウ)日頃から節電や節水を心がけました。ケアプラザ周りの植栽の水やりなどを定期的に行い、地域の皆様に見た目にも楽しんでいただけるように配慮致しました。

介護保険事業

●介護予防支援事業

《職員体制》

兼務	地域包括支援センター	保健師担当看護師 主任ケアマネジャー 社会福祉士	1名 1名 1名
兼務	非常勤職員	介護支援専門員	2名

《目標》

- ア.ご利用者の自立に向けた目標指向型のケアプランを作成します。サービスの導入にあたっては、一人ひとりの心身状況や環境の応じて、ご本人と計画作成者がともに取り組むことを大切にし、目標の振り返り、評価を行いました。
- イ.要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、地域包括支援センターや地域活動交流と連携し地域で行っているサービスを紹介しました。特に独居の方や高齢者世帯の見守りは、介護保険以外でも他の職種と協力して行いました。
- ウ.公正中立な立場にたつて介護予防ケアプランを作成するとともに、サービス事業所等との連絡調整を行いました。

《実費負担》

- ア.担当者もしくは居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、通常のサービス提供地域を越えて訪問する際には、重要事項の説明にそつて、交通費の実費をいただくことになっております。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア.要支援者・二次予防事業の参加者を対象として、介護予防事業やボランティア講座を実施しました。
- イ.地域包括支援センター3職種が、それぞれに専門性を持ちながら共通認識を持って対応できるように、所内にて定期的に会議を行います。日常的に情報交換を行い、協力体制を敷いて、個別ケースを多面的、総合的に解決できるように取り組みました。

《利用者数実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
159	163	161	157	163	166
10月	11月	12月	1月	2月	3月
167	168	173	171	172	171

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

代表者（ケアプラザ所長）	1名
管理者（介護支援専門員）	1名（常勤兼務）
介護支援専門員	2名（常勤専従）
	2名（非常勤）

《目標に対する取り組み》

ア.介護保険法に遵守した基本業務の徹底

週1回のケアマネ会議を中心に業務の徹底及び研修報告・さまざまなケースの対応について検討や話し合いにより法令順守の徹底に努めて参りました。

イ.ご利用者様との信頼関係の更なる構築

月1回のモニタリング訪問を中心に信頼関係を築いて参りました。

ウ.個人情報の取り扱いについて徹底する

研修や会議を通して常に個人情報の徹底を図り、日頃から複数の確認に努めて参りました。

エ.地域包括支援センターとの連携を密にする

併設した事業所でもあることから、様々なケースについて話し合う機会があり連携は、常に取れています。

オ.公正中立な立場に立ち、ケアプランを作成するとともに、サービス事業所等との連絡調整を密に行いました。

《実費負担》

(ア)交通費について

事業所の通常の事業実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、ご利用者様及びご家族様等に対して事前に文章で説明し、支払に同意・署名捺印の上実費を頂きました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ア.質の高いケアマネジメントを提供する「特定事業所加算Ⅱ」を取得した

事業所として伝達会議の実施及び研修等に参加して、チームとして個々のケースの理解を深め職員全体の質の向上を図って参りました。

イ.地域包括支援センターとの連携を深め、複雑な問題を抱えたご利用者様の

問題に対し、常に迅速に丁寧な支援を心がけきめ細かな支援を行って参りました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80	81	80	82	83	83
10月	11月	12月	1月	2月	3月
84	87	84	83	81	85

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. 通所介護計画書の作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常動作訓練）
介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなど）・健康状態の確認・送迎・食事・
入浴などのサービスを提供いたしました。ご希望の方には個別機能訓練や口腔機能
向上のためのプログラムも実施しています。
- イ. 通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者やご家族の意思を尊重し
心身の状況、その置かれている生活環境等に応じて、ご利用者が自立した日常
生活を営むことができることを目的とし、また計画の作成や評価にあたっては必
要に応じてご利用者、ご家族への聞き取りや、お宅への訪問などを行い、状況確
認を行いました。
- ウ. サービス提供にあたっては、介護支援専門員や関係行政機関、地域の保健・医療
サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に
努めました。利用後も要介護状況の軽減もしくは悪化の防止又は、要介護状態にな
ること予防に資するように十分配慮しています。
- エ. サービス提供時間を有効に活用いただけるように、お客様に選択して頂ける少人対
象のプログラムも提供しました。

《実費負担》

ア. 1割負担分

（要介護1）	733円
（要介護2）	862円
（要介護3）	995円
（要介護4）	1,129円
（要介護5）	1,262円

イ. 加算

・ サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	7円
・ 入浴加算	53円
・ 介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の19に相当する 単位数の料金

ウ. 食費負担 650円

エ. キャンセル料 450円（食材料費相当）

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※ 年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》 管理者	1名
生活相談員	3名（兼務）
看護職員	5名（機能訓練指導員兼務）
介護職員	27名（常勤2名、非常勤25名）
機能訓練指導員	5名（看護職員兼務）
調理員	6名
ドライバー	4名

《目標に対する取組状況》

- ア. 自立支援の観点から、できることはできる限りご自分で行って頂き、できない部
分をスタッフが支援することを基本姿勢として皆様の対応を致しました。
- イ. お客様が安全に過ごして頂けるように、事故の防止や発生時の細かな振り返りを行
いスタッフへ周知致しました。
- ウ. 介護に関する知識や技術の向上の為、計画的に自社内で研修を行いました。また、
自己研鑽の為に外部研修への参加などの支援をしました。
- エ. 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携を密に図り、お客様、ご家
様のニーズにあった適切なサービスを迅速、確実に提供できるように努めました。

- オ.美味しいお食事の提供の他に、お客様の状態にあわせた個別機能訓練を実施し、心身ともにお元気に過ごして頂けるように取り組みました。
- カ.地域活動交流事業との連携により、様々なボランティアの方々にお越しいただき多様なプログラムを実施いたしました。
- キ.個人情報の取り扱いに関する手順をしっかりと守り、管理を徹底しています。
- ク.介護保険法を遵守し、適正な人員配置で業務を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ア.お客様の希望に合わせたサービス提供の実施

- (ア) 日常生活上の課題をお持ちのお客様を対象に別メニューで個別機能訓練を実施しました。定期的に評価を行いました。
- (イ) 食事前は嚥下体操、食後には口腔ケアを行い、口腔内の健康と嚥下能力の維持に取り組みました。
- (ウ) 書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀、脳トレなど、お客様の心身の活性化につながるプログラムをご自身で選択して行って頂きました。
- (エ) 季節感を感じて頂ける年間行事の他、通信カラオケシステムを利用したリズム体操、シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣へ外出する戸外機能訓練など、機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施いたしました。

イ.入浴

ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。

ウ.お食事

- (ア) 厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成しました。また、毎月のテーマに沿って、季節の味覚を取り入れ、手作りでボリューム満点の美味しい食事を提供しました。お誕生日週間のおやつは人気の全国銘菓を取り寄せたり、近隣の和菓子屋さんへ注文を行ったりと、ひと味違う味覚を楽しんで頂きました。
- (イ) 職員による毎日の検食、お客様への嗜好調査の結果を踏まえて、厨房スタッフ会議などの場で献立の見直しを行い、食べやすく美味しいお食事を提供できるように、日々精進致しました。

エ.スタッフ教育

- (ア) ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を定期的を実施し、情報を共有するとともに、より良いサービスを提供するために話し合いや研修を実施しました。
 - (イ) スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会等を年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施しました。
- また、必要時にはお客様のカンファレンスも行いました。

オ.関係機関・地域連携

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と常に情報交換を行い、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。

《利用者数（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
682	732	636	720	672	675
10月	11月	12月	1月	2月	3月
668	643	644	592	616	695

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア.介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（機能維持、向上）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供しました。また、ご希望に応じ、運動器機能向上や口腔機能向上を目的とした別プログラムを実施しました。
- イ.予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客様、ご家族の意思を尊重し、心身の状況、生活環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮しました。
- ウ.サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に配慮致しました。

《実費負担》

ア.1割負担分

（要支援1）	2, 230円
サービス提供強化加算（Ⅱ）	26円
（要支援2）	4, 465円
サービス提供強化加算（Ⅱ）	51円

イ.加算

・運動器機能向上加算	238円
・口腔機能向上加算	159円
・複数実施加算	506円
・介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の19に相当する単位数の料金

ウ.食費負担

650円

エ.キャンセル料

450円（食材料費相当）

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》

9：40 ～ 15：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名（兼務）
看護職員	5名（兼務）
介護職員	27名（常勤兼務2名、非常兼務25名）
機能訓練指導員	5名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	4名（兼務）

《目標に対する取組状況》

お客様お一人おひとりの心身の特性、生活状況を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活を行えるように様々なサービスを提供しました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により援助方針を決定し、お客様のニーズに合わせた最適の計画を立て、実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ア.さらなる個別対応の取り組み

- （ア）お客様一人ひとりの能力、生活状況に応じた援助を行いました。
- （イ）運動器機能向上計画書をもとに、目標の達成を目指して機能訓練指導員が機能訓練を行い、体力チェック、計画の評価を定期的に行いました。

- (ウ) お食事前には嚥下体操、食後には歯磨き指導を行い、安全に美味しくお食事を召し上がって頂くよう努めました。
口腔内の健康と嚥下能力の維持のため、口腔ケアを行いました。
- (エ) 書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀、脳トレなど、お客様の心身の活性化につながるプログラムを選択して、行って頂きました。
- (オ) 通信カラオケシステムを利用してのリズム体操、シルバー体操指導員をお招いてのリハビリ体操、近隣への外出（戸外機能訓練）など機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施しました。また、初詣や盆踊り、運動会など季節に合わせた行事も実施致しました。

イ.入浴

ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。

ウ.お食事

- (ア) 厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成しました。また、毎月のテーマに沿って、季節の味覚を取り入れ、手作りでボリューム満点の美味しい食事を提供しました。お誕生日週間はおやつに人気の全国銘菓の取り寄せや、近隣の和菓子屋さんへの注文を行う等、ひと味違う味覚を楽しんで頂きました。
- (イ) 職員による毎日の検食、お客様への嗜好調査の結果を踏まえて、厨房スタッフ会議などの場で献立の見直しを行い、食べやすく美味しいお食事を提供できるように、日々精進致しました。

エ.スタッフ教育

- (ア) ナース会議、スタッフ会議、厨房会議、ドライバー会議を定期的実施し情報を共有するとともに、より良いサービスを提供するために話し合いを行いました。
- (イ) 全員がチームワークを大切に「報告・連絡・相談」を心掛け、業務にあたりました。
- (ウ) スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会など、年間研修計画を作成し、計画的に実施致しました。検討が必要なお客様には、カンファレンスも実施致しました。

オ.関係機関・地域連携

- (ア) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。また、お申し込みに関しても、スムーズにサービス開始ができるように迅速に受け付けをいたしました。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
13	12	14	11	13	13
10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	14	14	14	14	11

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

ア.ご自宅での生活状況を踏まえて、認知症対応型通所介護計画の作成、生活指導（ご本人、ご家族への相談援助等）、機能訓練（日常生活に関わる動作等）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認、お食事の提供、入浴などのサービスを提供いたしました。さらに、ご希望に応じて、個別機能訓練や口腔機能向上のプログラムを実施しました。

イ.認知症対応型通所介護計画の作成にあたっては、今後在宅生活を続けていくうえで課題解決、要介護状態の維持・改善を目的に目標の設定をしています。お客様のご希望を尊重し、心身の状況、生活全般の環境に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう課題抽出、計画の作成を行いました。そのため、ご自宅での生活に役に立ちそうな情報や、ご家族の介護負担の軽減につながるような情報などについて、デイサービスより詳しくお知らせをしながら、必要に応じてお客様やご家族様からもお話を伺うなど、よりよいサービス提供に向けての取り組みを行いました。

ウ.サービスの提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図りました。

誰にでもわかりやすいように平成27年3月「認知デイそよ風」と呼称を変更、使用しています。

《実費負担》

ア.1割負担分

(要介護1)	1, 105円	(要介護2)	1, 224円
(要介護3)	1, 345円	(要介護4)	1, 465円
(要介護5)	1, 584円		

イ.加算

・入浴加算	54円
・個別機能訓練加算	29円
・口腔機能向上加算	160円
・若年性認知症利用者受入加算	64円
・サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	7円
・介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	1か月のご利用単位数の1,000分の29に相当する単位数の料金

ウ.食費負担 650円

エ.キャンセル料 450円(食材料費相当)

《事業実施日数》 週 6 日(月曜日～土曜日)
※年末年始(12月29日～1月3日)を除く

《提供時間》 9:40 ~ 16:45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名(兼務)
看護職員	6名(兼務)
介護職員	17名(常勤兼務2名非常勤15名)
機能訓練指導員	6名(看護職員兼務)
調理員	6名(兼務)
ドライバー	3名(兼務)

《目標に対する取組状況》

お客様お一人おひとりの心身の特性や生活状況を踏まえ、自立支援、介護者の介護負担の軽減などの観点からサービスを提供致しました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により対応方針を細かく決定し、支援致しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ア.さらなる個別対応の取組

- (ア) お客様とスタッフが顔なじみになれるアットホームな雰囲気でのサービスを目指しました。
- (イ) 個別機能訓練はお客様お一人ずつの目標達成を目指して、機能訓練指導員が主に個別に機能訓練を行いました。
- (ウ) お食事前には看護職員が嚥下体操を行いました。お客様の嚥下の状態に応じて、お食事の形態を変更するなど、安全に美味しくお食事を召し上がって頂けるように取り組みました。
食後の口腔ケアでは、口腔内の観察、歯磨き指導などを行い、口腔内の健康と嚥下能力の維持に努めました。
- (エ) 脳トレ、書道、折り紙、塗り絵、園芸など、お客様の心身の活性化につながるプログラムを充実させ、お客様に選択して頂き、実施しました。
- (オ) お客様個人の目標に合わせて外出（戸外機能訓練）や運動会などの季節感を取り入れた行事など、機能訓練の要素を盛り込み、楽しめるプログラムの提供を行いました。

イ.入浴

ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。入浴の際は、一人ずつスタッフが付き添いで湯舟まで誘導を行い、安全には十分に配慮しました。

ウ.お食事

- (ア) 厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成しました。また、毎月のテーマに沿って、季節の味覚を取り入れ、手作りでボリューム満点の美味しい食事を提供しました。お誕生日週間のおやつは人気の全国銘菓を取り寄せたり、近隣の和菓子屋さんへ注文したりと、ひと味違う味覚を楽しんで頂きました。
- (イ) 職員による毎日の検食、お客様への嗜好調査の結果を踏まえて、厨房スタッフ会議などの場で献立の見直しを行い、食べやすく美味しいお食事を提供できるように、日々精進致しました。

エ.スタッフ教育

- (ア) 定期的に、スタッフ会議を実施し、情報を共有するとともに、より良いサービスを提供するための話し合いやお客様の対応の検討を行いました。
- (イ) 全員がチームワークを大切に「報告・連絡・相談」を意識し、業務にあたりました。
- (ウ) 法人で運営している認知デイ18事業所の全スタッフ対象に、事例検討会を実施し、お客様のニーズの抽出方法、対応方法などを学びました。

オ.関係機関・地域連携

- (ア) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
210	227	214	223	203	212
10月	11月	12月	1月	2月	3月
230	199	184	173	185	190

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- （ア）幅広く地域の相談窓口として4職種が協力・連携し自主事業運営や地域へのアプローチ、個別相談の対応をまいりました。子育て、障がい児者等、地域活動交流事業関係の相談件数も増加しています。
- （イ）高齢・障がい・子育て・ボランティア・地域関係等々の会議に4職種がそれぞれ出席し、関係機関との連携を図り、所内にて情報を共有しチーム支援に取り組みました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- （ア）地域の現状把握、課題抽出のため、地域アセスメントを行い、アセスメントシートやマップなどで可視化し、4職種で情報の集約、共有をしました。
- （イ）地域の会合や事業に積極的に出向き、4職種会議や報告書などで共有しています。
- （ウ）介護予防事業、認知症啓発、障がい児者支援、地域住民の交流、人材育成を目的とした事業に連携して取り組みました。
- （エ）地域ケア会議の開催にあたっては4職種の専門性を活かし個別ケア会議から包括レベルの地域ケア会議に展開できるよう取り組んでいます。

3 職員体制・育成

- （ア）予防推進、及び相談業務強化のために職員の雇用を行うなど、適正な人員配置での運営を行っています。資格要件の確認も定期的に行っています。
- （イ）朝礼にて常に情報の共有を心がけています。所内会議や職種の会議も毎月実施し、業務の管理に関する事、現在の地域での活動状況なども確認しています。
- （ウ）研修は年間計画を作成し、全職員対象の個人情報保護研修や認知症、事故防止、感染症防止など、様々なテーマで実施しています。法人本部や外部講師の研修にも積極的に参加し、伝達研修を行っています。

4 地域福祉のネットワーク構築

- （ア）地域課題の解決に向けて関係機関との連携を図り、各種団体との共催による事業を実施しました。
- （イ）ケアプラザまつりや異世代交流会、ボランティア交流会などを通して、地域住民、地域団体、障がい者施設、貸室利用団体の繋がりの機会の充実を図り、福祉保健活動の推進に取り組みました。

5 区行政との協働

- （ア）にこまちプラン地区別計画推進を目指し、地区支援チームの一員として地域課題の抽出に協働で取り組みました。また、第3期西区地域福祉保健計画策定に向けて、第2期の振り返りやテーマ別の検討を行いました。
- （イ）子育て支援、高齢者支援、障がい児者支援事業を連携して実施し、情報を共有しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- (ア) 地域団体と連携を深め、地域課題、社会資源等の情報収集に努めました。また、地域団体が運営する子育て支援事業、高齢者サロン、会食会等に出向き、活動状況を把握するとともに啓発、情報提供を行いました。
- (イ) 自主事業参加者、貸室利用団体を対象に利用者アンケートを実施し、ニーズの把握、課題の抽出を行い、改善策を検討しました。
- (ウ) 地域版広報誌「とべとべ通信」を発行し（4/年）、地域ケアプラザ及び地域包括支援センターの機能を周知、福祉保健の情報を提供するほか、地域活動を掲載し社会資源の周知、啓発を行いました。また、区の広報、掲示板、ホームページ、チラシ等で事業の周知を行い地域に発信しました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- (ア) 諸室の安全・衛生を保ち、快適な場の提供を行うため、避難経路図や備品の整備を行いました。また、稼働率向上のために空き室情報をホームページに掲載し広く情報を提供しました。
- (イ) 既存の活動団体や自主事業から発展し自主化した団体に福祉活動の機会を提供し、継続的な活動の支援をしています。

3 自主企画事業

- (ア) 高齢者支援
地域包括支援センターと連携し、高齢者の居場所づくりや交流、介護予防の事業を実施しました。また、中高年からの介護予防・体力維持向上、仲間づくりを目的とした事業の開催や地域での事業展開などで事業参加者の拡充に努めました。
- (イ) 子育て支援
地域の現状を踏まえ、乳幼児親子の仲間づくりや不安・ストレスの解消を目的に0歳児親子を対象とした事業を継続して実施しています。また、「子育て支援拠点スマイルポート」と連携して課題の抽出や情報提供・情報共有を行いました。
- (ウ) 人材育成
介護予防ボランティア講座から自主化したグループ「フルーツばすけっと」を継続して後方支援しています。子育て支援事業や地域子育てサロン、西区自立支援協議会余暇支援事業へ布おもちゃの提供をして福祉活動に取り組んでいます。
- (エ) 障がい児者支援事業
西区自立支援協議会と協働で余暇支援事業に取り組みました。また、区高齢障害支援課障害担当、地域活動ホーム「ガッツ・びーと西」と協働で障がいのある未就園児の親子を対象にした事業（まるさんかくしかく）を実施し、繋がりづくりをしました。
中途障がい者を対象にした事業「レッツ・プレイ」を開催し、中途障がい者の交流、リフレッシュに取り組んでいます。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- (ア) 介護予防ボランティア講座から自主化した「フルーツばすけっと」を支援し、活動の場を提供をすることにより福祉活動に発展させています。
- (イ) 高齢者のボランティア活動推進のため、よこはまシニアボランティアポイントの普及に努めました。
- (ウ) 地域団体の活動を掲載し、福祉活動の啓発をして新しい人材の発掘に取り組んでいます。
- (エ) ボランティア活動の意欲向上、ボランティア間の交流、ネットワークづくりを目的に、ボランティア感謝会&交流会を開催しました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- (ア) 平成 25 年度との比較では、総合相談の件数が大幅に増加しています。相談機関としての周知が広がり、また関係機関との連携が図れているものと思われます。
- (イ) 初回相談後、フォローが必要だと思われる相談者に対して、その後の連絡がない場合は適宜、後追い連絡・支援を行っております。
- (ウ) 様々な関係機関・地域施設へ出向くことにより、障がい関係機関からのご相談も増えています。

地域包括支援ネットワークの構築

- (ア) 地区支援チーム会議、地区別懇談会、介護・医療連携推進会議、認知症支援虐待防止事業連絡会、社会福祉協議会の各分科会等の会議に出席し、ネットワーク構築に努めました。
- (イ) 地域ケア会議（個別ケア会議・包括レベルケア会議）を開催し、地域包括ケア推進に努めました。
- (ウ) 往診医や在宅でのターミナル期のご相談等については、西区在宅医療相談室や各病院相談室と連携を図りました。
- (エ) 民生委員やケアマネジャーと地域包括支援センターの交流会を行い、顔の見える関係づくりを行いました。

実態把握

- (ア) 統計資料や四半期報告書などから地域特性や実態把握を行い地域アセスメントシートを作成しました。
- (イ) 地域団体の様々な活動場所へ出向くことにより、参加者や担い手からの声をひろい、広く情報収集を行いました。

2 権利擁護

権利擁護

- (ア) 区役所・社会福祉協議会・他地域包括支援センターと共催にて「人生これから講座」を企画し、若い世代向けに権利擁護の視点・準備など啓発を行ったほか、行政書士会・ガッツビーと西・ねくさすとの共催にて、障がい児・者をメインとした成年後見制度啓発事業を実施しました。
- (イ) 権利擁護サポートネットへの参加やカンファレンスを通じて、本人の権利を守る事・意思の尊重などの視点を大切に行いました。

高齢者虐待

- (ア) 民生委員児童委員協議会の研修会と共催し、虐待の早期発見や相談窓口の周知を行いました。
- (イ) 介護者のつどいを定期的に開催し介護者支援を行いました。
- (ウ) 個別ケースに対しては、区役所・ケアマネジャー・サービス事業所と連携を図り、対応いたしました。
- (エ) サービス事業所への啓発として、事前アンケートを実施しました。

認知症

- (ア) サポーター養成講座の開催や、区役所やキャラバンメイトと協力し啓発に取り組みました。
- (イ) 介護者のつどいを定期的に開催し、介護者支援を行いました。個別ケースにおいても、あけぼの会に協力を依頼し、家族支援やケアマネジャーへの橋渡しなど行いました。
- (ウ) 傾聴講座や回想法勉強会を実施し、認知症の方や家族へのインフォーマル支援（社会資源）となる人材を育成しています。
- (エ) 若年性認知症の方への支援として、啓発講座を実施しました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

出前講座や出張相談会、地域のお祭りや食事会、自主事業の参加者、相談者など幅広く基本チェックリストを実施し、状況把握に努めました。

介護予防ケアマネジメント力

- (ア) 平成 27 年 3 月現在では 170 件のケアプランの立案があり、うち 7 割を委託しています。契約時は必ず訪問し、サービス担当者会議にも積極的に出席し状況把握に努めました。
- (イ) 自立支援に向けたプランであるか、本人に提示をする前に必ず担当職員が目を通すようにしています。
- (ウ) ケアマネジャー向けの研修を 1 月に実施し、ケアプラザの自主事業をはじめ、民生委員の見守り訪問等インフォーマルサービスがあることを周知しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- (ア) 地域の様々な会合、お祭り、清掃活動等に参加し、お互いが協力しやすい体制が取れるように、積極的に地域に顔を出し、地域の方にわかりやすく地域包括支援センターの周知を図りました。職員3名の名前入りの名刺を作成し、活用しました。
- (イ) 地域の方からの相談で、認知症サポーター養成講座、個別事例地域ケア会議を開催し、地域課題についての検討を行いました。包括レベルの地域ケア会議に向けた取り組みを行いました。
- (ウ) 介護保険制度の適切な利用、情報の周知のため、民生委員の研修会、一人暮らし高齢者の食事会において、介護保険制度、ケアマネジャーの役割についての説明を行いました。

医療・介護の連携推進支援

- (ア) 医療・介護が連携するために、西区医療連携相談室と協力し、在宅に戻っても継続的に医療、介護を受けることが出来るよう支援を行いました。
- (イ) 事例検討会、ケアマネサロンを通じ、各関係機関が意見交換出来る場を設定し、課題に向けた各関係機関の役割を再確認しました。
- (ウ) 医療機関につなげにくい方には、ケアプラザの協力医に相談を行い、支援を行いました。エリアの介護、医療情報については最新の情報を把握し、総合相談に活かしています。

ケアマネジャー支援

- (ア) 居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャー、区役所高齢担当、ケアマネ研究会と連携し、ケアマネサロンを開催しました。西区全体でケアマネジャーのスキルアップが図れるよう支援をしました。
- (イ) 西区ケアマネ研究会には積極的にかかわりを持ちました。ケアマネジャーの質の向上、ネットワーク作りのための支援を行いました。
- (ウ) ケアマネジャーよりの相談は年々増え、支援困難ケースが増えています。支援困難ケースには、同行訪問、情報共有、カンファレンスを行い継続的な支援を行いました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- (ア) 各関係機関がケアチームとして課題解決に向けた取組が出来るような、地域ケア会議を開催し、地域の課題に向けた取組を行いました。個別レベルの地域ケア会議は4回開催し、包括レベルの地域ケア会議は1回開催しています。
- (イ) 個別の事例から、地域課題把握につなげる視点を持ち、ネットワークの構築を図りました。

介護予防事業

介護予防事業

- (ア) 介護予防推進事業にて人材育成のための「傾聴講座」を実施し、その後の介護予防普及事業「元気サロン in 西前」につなげることができました。
- (イ) 西前小学校コミュニティハウスを利用し介護予防事業「元気サロン in 西前」を立ち上げ、実施しました。
- (イ) 第2地区社会福祉協議会と協働し、元気づくりステーション「明るく楽しい元気サロン」の後方支援を行っています。

その他

みなとみらい地区において、「遅起きラジオ体操 IN みなとみらい」「ノルディックウォーキング」、高島中央公園の清掃を継続中です。その他、M.M towers で実施中のMM体操クラブにも参加させて頂き、ケアプラザの役割の説明や、健康づくりの講話などを行い、ケアプラザの周知に努めました。

平成26年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：戸部本町地域ケアプラザ

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型 通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料収入	19,220	23,618	2,539					
	介護保険収入				9,240	16,650	77,823	6,509	37,981
	その他								
	指定管理戻入分	-428	-115	-647					
	認定調査					428			
	原案作成委託料				1,009				
	食費収入						5,276	592	1,616
	雑収入他	380	130			16	566		19
	収入合計(A)	19,172	23,633	1,892	10,249	17,094	90,766		39,616
支出	人件費	11,478	21,455	1,497	2,705	17,593	55,193		22,148
	事務費	3,916	2,648	403		1,816	12,687		4,325
	事業費								
	管理費	7,610	2,022			7	6,433		2,334
	その他								
	施設使用料相当額						2,993		997
	居介支委託分				6,162				
	会計区分外繰入金支出						13,460		2,540
	支出合計(B)	23,004	26,125	1,900	8,867	19,416	90,766		32,344
	収支 (A) - (B)	-3832	-2492	-8	1382	-2322	0		7272

平成26年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料等	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護予防コーラス 「にこにこ隊」	高齢者	89,210	75,386	13,824	22,272	64,638	2,300
	374名						
	なし～864円						
介護予防コーラス 「歌の広場」	高齢者	22,272	22,272	0	22,272	0	0
	221名						
	なし						
おやじの時間	地域住民	11,090	8,290	2,800	0	7,730	3,360
	114名						
	なし						
若年性認知症支援事業 「働きざかりの物忘れ」	介護者・当事者	12,067	12,067	0	11,137	930	0
	4名						
	なし						
みんなで遊ぼう	未就園児・保護者	53,967	25,167	28,800	39,749	4,428	9,790
	477名						
	0～300円						
遅起きラジオ体操 in石崎川公園	地域住民	30,792	30,792	0	0	2,232	28,560
	671名						
	なし						
家族介護者のつどい	地域住民	22,700	22,700	0	0	22,700	0
	37名						
	なし						
ゆっくりフラダンス ロケラニ	地域住民	144,432	75,132	69,300	133,632	0	10,800
	231名						
	300円						
出張相談会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	43名						
	なし						
福祉用具相談・展示事業 転ばぬ先の杖	地域住民	0	0	0	0	0	0
	54名						
	なし						
コミュニティーキッチン5	地域住民	37,745	25,145	12,600	5,000	32,745	0
	103名						
	200円						
ノルディックウォーキング inみなとみらい	地域住民	127,404	89,004	38,400	100,224	0	27,180
	128名						
	300円						
らくらく健康ストレッチ	地域住民	92,200	54,800	37,400	85,000	0	7,200
	187名						
	200円						
手打ちうどんを作ろう	地域住民	12,000	4,000	8,000	3,000	9,000	0
	13名						
	500円						

平成26年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料等	参加費	講師謝金	材料費	その他
認知症サポーター養成講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	99名						
	なし						
人生これから講座 家族で考える老後の暮らしあれこれ	地域住民	5,200	5,200	0	0	200	5,000
	95名						
	なし						
戸部本町地域ケアプラザ まつり	地域住民	134,629	134,629	0	5,000	61,629	68,000
	564名						
	なし						
成年後見制度 市民公開講座	障がい児者	0	0	0	0	0	0
	31名						
	なし						
ボランティア感謝会&交流会	ボランティア	58,827	58,827	0	11,137	44,570	3,120
	29名						
	なし						
障がい児者余暇支援事業	障がい児者	6,402	6,402	0	0	6,402	0
	10名						
	なし						
中途障がい者支援事業 レッツ・プレイ	中途障がい者	0	0	0	0	0	0
	0名						
	100円						
障がい児余暇支援 ○△□	障がい児と保護者	0	0	0	0	0	0
	10名						
	なし						
遅起きラジオ体操 inみなとみらい	地域住民	6,720	6,720	0	0	0	6,720
	89名						
	なし						
ケマネサロン	ケマネジャー	0	0	0	0	0	0
	257名						
	なし						
回想法勉強会	地域住民	55,680	55,680	0	55,680	0	0
	27名						
	なし						
ママ友倶楽部	0歳児・保護者	134,638	55,438	79,200	134,638	0	0
	264名						
	300円						
はり切りカフェ	高齢者	67,686	43,286	24,400	14,136	53,550	0
	244名						
	100円						
第一地区第3地区民生委員 児童委員協議会顕彰会	民生委員	0	0	0	0	0	0
	31名						
	なし						

平成26年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料等	参加費	講師謝金	材料費	その他
エイジングケア 自分のからだを好きになる	中高年	16,350	7,350	9,000	15,000	0	1,350
	30名						
	300円						
布おもちゃ作り支援事業	地域住民	14,622	14,622	0	0	14,622	0
	108名						
	なし						
ママ育講座	未就園児と保護者	0	0	0	0	0	0
	30名						
	なし						
早稲田大学グリーンクラブOB わいわいクラブ アフタヌーンコンサート	地域住民	12,528	12,528	0	10,000	2,528	0
	47名						
	なし						
大人のチャレンジ塾① トールペイントでトートバック を作ろう	中高年	13,068	6,068	7,000	5,568	7,500	0
	14名						
	500円						
大人のチャレンジ塾② ルバーブで手作りジャム	中高年	10,568	8,068	2,500	5,568	5,000	0
	15名						
	500円						
大人のチャレンジ塾③ ドライトマト作り	中高年	12,568	8,068	4,500	5,568	7,000	0
	9名						
	500円						
大人のチャレンジ塾④ フェルトで作るブローチ	中高年	13,568	7,168	6,400	5,568	8,000	0
	9名						
	500円						
大人のチャレンジ塾⑤ 手作り味噌を作ろう	地域住民	25,568	17,568	8,000	5,568	20,000	0
	20名						
	800円						
夏休みこども講座 押し花コースター作り	小学生	10,568	8,068	2,500	5,568	5,000	0
	5名						
	500円						
レッツ・シング	中高年	77,959	41,459	36,500	77,959	0	0
	73名						
	500円						
年賀状書き方講座 年賀状を書こう	地域住民	2,600	2,600	0	0	2,600	0
	8名						
	なし						
福祉教育	小中学生	0	0	0	0	0	0
	42名						
	なし						
無限夢工房女子サークル たんぼぼのたね お菓子づくり支援	障がい者	2,412	1,512	900	0	2,412	0
	10名						
	100円						

平成26年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料等	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア講座 はじめの一歩を始める前に	地域住民	0	0	0	0	0	0
	6名						
	なし						
介護予防普及強化事業 きちんとラジオ体操	高齢者	7,350	7,350	0	5,568	0	1,782
	35名						
	なし						
介護予防推進事業 傾聴講座	中高年	111,876	111,876	0	66,822	39,093	5,961
	67名						
	なし						
介護予防普及強化事業 らくらく健康ストレッチ	高齢者	53,970	53,970	0	30,000	19,970	4,000
	82名						
	なし						
介護予防普及強化事業 お元気サロンin西前	高齢者	92,002	92,002	0	48,998	37,094	5,910
	94名						
	なし						
介護予防推進事業 歯の健康相談育成	中高年	14,548	14,548	0	0	14,548	0
	9名						
	なし						

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防コーラス にこにこ隊	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：介護予防コーラス	毎月第2・4月曜日 (全23回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防コーラス『歌の広場』	目的：介護予防・仲間づくり・交流の場の提供 内容：介護予防コーラス（童謡・唱歌など）	毎月第3火曜日 (全13回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじの時間	目的：地域の男性の居場所づくり・介護予防・ボランティア育成 内容：中高年の男性の居場所作り、ボランティアの育成、介護予防。	毎月第4火曜日 (全12回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
若年性認知症支援事業「働きざかりの物忘れ」	目的：若年性認知症の方と家族の支援 内容：講座と交流会	年1回

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	目的：子育て支援・乳幼児親子の交流の場の提供 情報提供 内容：プレイルームの解放、ミニ企画の実施（リトミック、体操プログラムなど）	毎月第2・4木曜日 (全23回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操in石崎川公園	目的：介護予防・健康増進・異世代交流 内容：石崎川公園にてラジオ体操を実施	毎週土曜日 (全47回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者のつどい	目的：家族介護者同士の交流の場の提供 内容：介護者同士の話し合い・情報交換・講座など実施しながら親睦・介護の情報提供を行う	不定期 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆっくりフラダンス ロケラニ	目的：ケアプラザの周知・ニーズ把握・介護予防 内容：フラダンスを通しての介護予防	毎月第1・3水曜日 (全24回)

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談会	目的：健康・介護等の出張相談。ケアプラザの周知 内容：藤棚らいぶステーションでの出張相談会（6回）と地域のお祭りなどでの健康相談の実施。	偶数月第4木曜日 等 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具相談 ・展示事業 「転ばぬ先の杖」	目的：効果的に福祉用具を利用することにより、介護予防に繋げる。福祉用具相談の充実を図る。 内容：福祉機器の展示・相談・紹介	不定期 年7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コミュニティー キッチン5	目的：異世代交流 障がい者理解 内容：支え合い連絡会から発展した異世代交流会（会食会）	平成26年8月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディック ウォーキングin みなとみらい	目的：みなとみらい地区での介護予防・健康増進・住民同士の交流 内容：ノルディックウォーキング	毎月第2・4土曜日 (全18回)

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく健康ストレッチ	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：ストレッチ体操	毎月第1・3金曜日 (全17回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手うちうどんを作ろう	目的：交流の場の提供・仲間づくり 福祉活動団体の活動の場の提供 内容：手打ちうどん作りと試食	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症の理解と啓発・ケアプラザの周知・認知症サポーターの育成 内容：地域住民向け・友愛会のメンバー向けに認知症の理解や啓発の為の講座	不定期（年3回）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
人生これから講座「家族で考える老後の暮らしあれこれ」	目的：権利擁護啓発 内容：西区役所・区社協・他ケアプラザとの共催講座。3回シリーズにて弁護士・病院のMSW・介護者を招き、講座を実施	平成26年10月～11月 全3回

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
戸部本町地域ケアプラザまつり	<p>目的：交流の場の提供・ボランティアの育成・各団体の交流支援</p> <p>内容：模擬店・演技発表・健康づくりコーナー・こども交流コーナー など</p>	平成26年11月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度市民公開講座	<p>目的：障がい児者を対象にした成年後見制度の啓発</p> <p>内容：コスモスサポートセンター（行政書士会）・ねくさす・ガッツビーと西・他包括支援センター共催にて講座と無料相談会</p>	平成26年9月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会&交流会	<p>目的：ボランティアニーズの把握・交流の場の提供 仲間作り支援</p> <p>内容：平成26年度に活動のあったボランティア方々を対象とした感謝会、会食・交流会</p>	平成27年3月 全1 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児者余暇支援事業	<p>目的：障がい児者余暇支援 ボランティアや地域の方々と共に様々な経験する</p> <p>内容：夏まつり・餅つきの実施・外出など</p>	夏休み・春休み 全5回

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中途障がい者事業「レッツ・プレイ」	目的：中途障がい者の仲間づくり・行き場支援 内容：WIIを利用したのリクリエーション	不定期 全8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児余暇支援 ○△□	目的：障がい児や病気のある未就学児親子の仲間づくり。 情報交換・情報提供。関係機関との連携。 内容：西区役所・ガッツビーと西と共催にて実施。親子の遊び場と交流、情報提供	平成26年10月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操 in みなとみらい	目的：健康増進・介護予防・異世代交流・ケアプラザの周知 内容：高島中央公園でのラジオ体操	毎月第1日曜日 (全9回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的・エリアのケアマネジャーの質の向上、スキルアップ 内容・ケアマネジャーへの研修会の開催、企画、運営	

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
回想法勉強会	目的：ボランティアの育成 内容：回想法実施による勉強会	毎月第4木曜日 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ友倶楽部	目的：0歳児親子を対象とした仲間づくり、育児不安、ストレスの解消、情報交換 内容：ベビーマッサージ・産後ママのボディシェイプ	毎月第1・3火曜日（全23回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はり切りカフェ	目的：高齢者の閉じこもり防止し外出の機会を提供する。脳の活性化、介護予防。地域住民の交流、仲間づくり。 内容：高齢者が交流を図りながら手芸等で手指を使い介護予防をするサロン。個別相談等に対応する機会の提供	毎月第2水曜日 （全12回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第一地区第3地区民生委員児童委員協議会研修会	目的：介護保険制度・包括支援センター啓発 内容：藤棚CP・宮崎CPの包括支援センター職員とともに、介護保険制度・包括支援センターの講和	平成12月 全1回

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エイジングケア 「自分のからだ を好きになる」	目的：中高年の健康維持増進・ケアプラザ周知 内容：セルフケアについての講座	平成26年5月～ 6月 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布おもちゃ作り 支援事業	目的：布おもちゃ作りを通じた、介護予防ボランティア育成事業 内容：布おもちゃ講座（介護予防普及事業）終了した方や地域住民が布おもちゃ作りを通じ、ボランティア活動をしていくための支援を行う。	毎月第1・3木曜 日（全22回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ育講座	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供 内容：子育て支援拠点『スマイルポート』との共催による、0歳児とその保護者の仲間づくり・地域参加支援のプログラム	平成26年7月 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
早稲田大学グ リーンクラブOB 「わいわいクラ ブ」アフタヌー ンコンサート	目的：音楽を通しての地域住民交流・高齢者の外出の場・ケアプラザ周知 内容：早稲田大学OBわいわいクラブによる男性合唱団コンサート	平成26年6月 全1回

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のチャレンジ塾①「トールペイントでトートバックづくり」	目的：中高年の仲間づくり・生きがいつくり・脳の活性化・ケアプラザの周知 内容：物づくりを通しての創作力・想像力を養い脳の活性化を図る。トールペイントでオリジナルトートバックを作る	平成26年6月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のチャレンジ塾②「ルバーブで手作りジャム」	目的：中高年の仲間づくり・生きがいつくり・脳の活性化・ケアプラザの周知 内容：物づくりを通しての創作力・想像力を養い脳の活性化を図る。健康に良いルバーブでジャム作る。	平成26年7月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大人のチャレンジ塾③「ドライトマト作り」	目的：中高年の仲間づくり・生きがいつくり・脳の活性化・ケアプラザの周知 内容：物づくりを通しての創作力・想像力を養い脳の活性化を図る。ドライトマト作り	平成26年8月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のチャレンジ塾④「フェルトで作るブローチ」	目的：中高年の仲間づくり・生きがいつくり・脳の活性化・ケアプラザの周知 内容：物づくりを通しての創作力・想像力を養い脳の活性化を図る。フェルトでブローチを作る	平成26年10月 全1回

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のチャレンジ塾⑤「手作り味噌を作ろう」	目的：中高年の仲間づくり・生きがいつくり・脳の活性化・ケアプラザの周知 内容：物づくりを通しての創作力・想像力を養い脳の活性化を図る。手作りの味噌作り	平成27年2月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みこども講座「押し花コースター作り」	目的：地域小学生の交流・ケアプラザ周知 内容：夏休みの小学生が交流を図りながら押し花のコースターを作る	平成26年8月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
レッツ・シング	目的：中高年の仲間づくり・生きがいつくり・ケアプラザの周知・新規事業参加者の獲得 内容：ゴスペルを通して地域住民の交流を図り、ストレスの解消	全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年賀状書き方講座「年賀状を書こう」	目的：ケアプラザ周知・地域機関との連携・地域住民の交流 内容：戸部郵便局との共催による年賀状の書き方講座と郵便の仕組み・ユニバーサルデザインの講和	平成26年12月 全1回

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育	<p>目的：地域の小中学生への福祉教育・関係機関との連携</p> <p>内容：社会福祉協議会との共催にて、平沼小学校・西中学校への福祉教育・高齢者理解の講和と体験</p>	平成26年11月・平成27年2月 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
無限夢工房女子サークル「たんぽぽのたね」お菓子作り事業	<p>目的：障がい作業所の女子サークルの活動支援・関係機関連携</p> <p>内容：「たんぽぽのたね」と共催による、お菓子作り。西区社会福祉協議会・浅間台CPの後援</p>	平成27年2月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア講座～はじめの一步を始める前に～	<p>目的：福祉活動の啓発・人材育成・よこはまシニアボランティアポイントの普及</p> <p>内容：ボランティア講座・ボランティアの活動紹介・よこはまシニアボランティアポイント登録説明会</p>	平成27年3月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化事業「きちんとラジオ体操」	<p>目的：介護予防普及啓発・介護予防事業推進支援者育成</p> <p>内容：正しいラジオ体操の講座</p>	平成26年5月 全1回

平成26年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防推進事業 傾聴講座	目的：認知症啓発 ボランティア育成 介護予防 内容：傾聴講演会 認知症講演会 傾聴講座	平成26年5月 (全5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化事業 らくらく健康ストレッチ	目的：介護予防に関心のある二次予防対象者の介護予防 内容：介護予防の必要性、ロコモティブシンドロームの予防、認知症予防	平成26年12月～平成27年2月 第1・3金曜日(全6回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化事業 お元気サロンin西前	目的：地域に出向いて介護予防事業を実施 内容：西前小学校コミュニティハウスを利用して介護予防に関する運動・口腔ケア等	平成26年9月～11月 第1・3木曜日 (全6回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予推進事業 歯の健康相談育成	目的：介護予防 内容：歯科衛生士による口腔チェックと指導	平成26年11月 全1回